

令和3年度 邑楽町行政評価結果一覧表（第五次行政改革大綱施策評価（個別シートは総合計画施策評価参照））

基本目標	基本施策（番号：総合計画施策番号）	具体的事業 取組状況 （PD）	KPI 進捗 （D）	KPI 課題捉方 （C）	KPI 改善方法 （A）	総合評価
町民と歩む協働のまち						
1	(37)地域コミュニティ活動の推進	45.83	30.00	8.33	7.64	91.80点
	(38)情報共有と町民参画の推進	33.33	26.25	7.36	8.06	75.00点
	(39)協働のまちづくりの推進	41.67	18.75	8.33	8.47	77.22点
信頼に応える行財政運営のまち						
2	(40)ICT（情報通信技術）の推進	34.38	30.00	8.06	8.19	80.63点
	(41)効率・効果的な行政運営の推進	40.63	15.00	7.22	8.06	70.91点
	(42)財政運営の健全性の確保	37.5	30.00	9.03	9.17	85.70点
	(43)広域行政の推進	41.67	26.25	8.61	8.47	85.00点
		/50点	/30点	/10点	/10点	/100点
平均		39.29点	25.18点	8.13点	8.29点	80.89点

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり		SDGs				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち						
	基本計画	_37_地域コミュニティ活動の推進						
総合戦略分類	基本目標		行政改革分類	基本目標	基本目標1 町民と歩む協働のまち			
	基本プロジェクト		基本方針	1 地域コミュニティ活動の推進				
目的	町民が地域と触れ合って、交流活動が活発化し、お互いが助け合う住みよい地域社会を実現する。							
PDCA (PD)	PLAN			DO				
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	運営・活動への支援		総務課	計画調書通り取り組んでいる	100	91.7%	
		取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・行政区長のからの行政区活動についての相談等に随時応じ、対応策の提案を行った。 ・区長協議会で行政区長の意見交換を実施し、行政区での具体的な取組内容や事業の実施状況等の情報共有を図った。 ・区長会において、「邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱」についての説明を丁寧に行い、利用できるメニューを示して、交付金利用の推進を図った。 				
	(2)	活動資金への支援		総務課(企画)	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
		取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に「邑楽町地域集会施設建設事業補助金交付要綱」の一部改正を行い、従来は別の交付金で対応していた掲示板の修繕を補助対象としたり、対象外であった集会施設の備品購入を補助対象としたりするなど、行政区がより利用しやすくなるよう改善を図った。 				
	(3)	地域コミュニティ意識の普及・啓発		総務課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50	
		取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・未加入者への声掛けを行い、自治会加入率の向上を図った。 ・ふれあいサロンや軽運動等を実施し、集まって楽しむことにより、改めて、人と人とのつながりの重要性についての意識向上を図った。 				
	(4)						点数	
		取組内容						
(5)						45.83		
	取組内容							
(6)								
	取組内容							

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	総務課				担当課	総務課				進捗平均		
		①	地域集会施設建設事業補助金行政区申請率(延べ)				②	地域の行事や活動に積極的に参加している町民の割合(年間)				100		
		策定時	73.5 %				策定時	7.0 %						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	80.0	%	82.3	%	R3	8.0	%	8.0	%	係数		
		R4	85.0					R4		9.0				
		R5	90.0					R5		10.0				30
		R6	95.0					R6		11.0				
		R7	100					R7		12.0				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
目標通り達成した					A	目標通り達成した					A			
					100						100			
											30.00			
CHECK														
分析(C)	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。							策定委員会評価欄						
	<p>【KPI①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各行政区で集会施設の老朽化が進んでおり、修繕に係る費用が増加傾向になっている。 1行政区で複数の集会施設を持つ行政区があり、交付金利用に不利な面がある。 <p>【KPI②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政区の活動に積極的に参加する住民の高齢化や固定化が進んでいる。 少子高齢化の進行、価値観の多様化や生活様式の変化等に伴い、地域活動に参加する住民の減少が進み、住民相互のつながりの希薄化が危惧される。 							課題の捉え方		点数				
								A～Eの5段階評価 A10点×8 B7.5点×9 C5点×0 D2.5点×1 E0点×0		8.33				
ACTION														
改善(A)	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。							策定委員会評価欄						
	<p>【KPI①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付金の利用希望を事前に把握し、対応できる十分な予算を確保する。 複数の施設をもつ行政区が不利にならないような運用方法を検討する。 <p>【KPI②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政区を運営する人に過度な負担のかからないような運営方法の調査研究を行う。 							解決・改善の捉え方		点数				
								A～Eの5段階評価 A10点×5 B7.5点×10 C5点×2 D2.5点×1 E0点×0		7.64				
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価(点数)								
	45.83点 /50点	30.00点 /30点	8.33点 /10点	7.64点 /10点		91.8点 /100点								

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち					
	基本計画	38_情報共有と町民参画の推進					
総合戦略分類	基本目標	基本目標2 邑楽町への新しい人の流れをつくる	行政改革分類	基本目標	基本目標1 町民と歩む協働のまち		
	基本プロジェクト	9 情報共有と町民参画の推進		基本方針	2 情報共有と町民参画の推進		
目的	効果的な広報広聴活動により、町民及び行政が情報を共有し町政への参画機会の充実及び町民の声が反映される町とする。						
PDCA (PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	広報広聴活動の充実		企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	66.7%
	取組内容	広報おうちの発行とともに、ホームページへの掲載方法も検討し、効果的な広報活動に努めた。ホームページの内容等については随時見直しを行い、ホームページ作成委員へ指導、助言を行った。広報おうちやホームページを補完するため、ツイッターやおうちお知らせメールを配信し、コンテンツの充実に努めた。					
	(2)	町の魅力の発信とイメージ向上		企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、ホストタウンとなったトンガ王国との様々な交流の様子を映像にまとめて配信した。					
	(3)	町政への参画機会の充実		企画課	一部取り組んでいる	50	50
	取組内容	パブリックコメントを4件実施し、意見を2件受けた。ホームページの問合せフォームや意見箱からの意見・要望を受け、速やかに担当課へ連絡、転送を行い、回答方法などの指導も実施。					
	(4)						点数
	取組内容						
	(5)						33.33
	取組内容						
	(6)						
取組内容							

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均		
		①	おうらお知らせメール登録者の満足度(年間)				②	パブリックコメント実施における意見数(年間)				87.5		
		策定時	新規 %				策定時	0 件						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	75.0	%	85.0	%	R3	1	件	2	件	係数		
		R4	85.0					R4		2				
		R5	90.0					R5		3				
		R6	95.0					R6		4				
		R7	100					R7		5				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
概ね目標通り達成した				B 75	目標通り達成した				A 100	26.25				
CHECK										策定委員会評価欄				
今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										課題の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 調査に対して周知が十分でなかったため、回答率が低く、得られた回答率が正しい数値とは言えない。</p> <p>【KPI②】 どの案件も町民からの反応が薄く、意見の提出につながっていない。</p>										<p>A～Eの 5段階評価 A10点 × 2 B7.5点 × 13 C 5点 × 3 D2.5点 × 0 E 0点 × 0</p>	7.36			
ACTION										策定委員会評価欄				
来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										解決・改善の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 お知らせメールユーザー向けに調査の趣旨などを事前に周知し、調査への理解を求める。調査結果をとりまとめ、ホームページ等で公表し、いただいた意見に対応する。</p> <p>【KPI②】 パブリックコメントの公表場所を増やし、町民の目に触れる機会を確保する。案件の概要版を作成し、伝わりやすさを求める。</p>										<p>A～Eの 5段階評価 A10点 × 6 B7.5点 × 10 C 5点 × 2 D2.5点 × 0 E 0点 × 0</p>	8.06			
評価	取組状況	目標	分析	改善	≒	総合評価(点数)								
	33.33点 /50点	26.25点 /30点	7.36点 /10点	8.06点 /10点		75点 /100点								






令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち					
	基本計画	_39_協働のまちづくりの推進					
総合戦略分類	基本目標	基本目標4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	行政改革分類	基本目標	基本目標1 町民と歩む協働のまち		
	基本プロジェクト	26 協働のまちづくりの推進		基本方針	3 協働のまちづくりの推進		
目的	町民参加の制度及び機会を充実させるとともに、協働による町民の自主的なまちづくり活動を推進する町とする。						
PDCA (PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	まちづくりの人材育成		生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	83.3%
	取組内容	コロナ禍でも町民の学習活動を支援するために、社会教育施設ではさまざまな教室や講座を開催した。中央公民館では、事業の企画・運営を町民参画で行うボランティアグループが活動している。また、町内の主婦が中心となって立ち上げた地域町おこしの団体もさまざまな取組を行った。この団体は、県主催の地域づくり講座に自ら参加し、自分たちが取り組んだ事業について県内他団体に向けて情報を発信している。住みやすく楽しい町にしたいという町民によるまちづくりの意識が広がっている。					
	(2)	地域課題の共有化		生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	公民館を中核に世代や立場を超えて地域課題について考える町民教養講座等を実施した。勤労者にも学びの場を広く提供するため土・日や夜間の講座も実施した。また、町民団体と企業やNPO法人等と連携し地域課題の情報共有を図りながら課題解決に向けた取組を進めた。					
	(3)	協働のまちづくり活動の推進		企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	50
	取組内容	地域課題の解決に対して、より多くの団体に取組を行ってもらえるよう、広報おうら及び区長会定例会において事業説明を行った。令和3年度からは企画課が窓口となり所管課を決定、その後は所管課において申請を受け付け補助を決定し、執行は財政係が行った。新規団体を含む6団体が「協働のまちづくり活動支援事業補助金」を活用し地域課題の課題解決を図った。					
	(4)						点数
	取組内容						
(5)						41.67	
取組内容							
(6)							
取組内容							

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	生涯学習課				担当課	企画課				進捗平均		
		①	地域づくりに資する講座・講演会事業参加者数				②	協働のまちづくり活動支援事業数(年間)				62.5		
		策定時	201 人				策定時	10 事業						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	210	人	152	人	R3	11	事業	6	事業	係数		
		R4	220					R4		12				
		R5	230					R5		13				
		R6	240					R6		14				
		R7	250					R7		15				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
概ね目標通り達成した					B 75		一部達成した					C 50	18.75	
CHECK										策定委員会評価欄				
分析(C)	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										課題の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】 コロナ禍でさまざまな制限を余儀なくされ、活動自体が難しい部分もあった。今後は対面でなくても、モバイル媒体を活用したネットワークづくり、SNSを活用した情報発信の取組が必要であると感じた。</p> <p>【KPI②】 広報紙や区長会を通じ事業を周知しているが、申請件数は減少傾向にある。申請団体については連続して申請する団体がある一方、新規の団体が少ないため事業の内容について周知の方法などを考える必要がある。</p>										A~Eの5段階評価 A10点×8 B7.5点×8 C5点×2 D2.5点×0 E0点×0	8.33		
ACTION										策定委員会評価欄				
改善(A)	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										解決・改善の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】 コロナ禍でも、企業やNPOと連携しながらICTを活用した講座や、オンラインでも視聴できるような講演会などの配信等に取り組む必要がある。また、普段は個々に活動している地域づくり団体をネットワークする取組を行い、情報共有を図りながら各団体が今後の活動に生かせる方法を探る場を提供していく。</p> <p>【KPI②】 ・邑楽町協働のまちづくり活動支援事業の取組団体に対して、自立して継続的な活動ができるよう、経営的視点の助言や各種助成制度などの情報提供を行う。 ・広報紙やホームページなどで事業周知を引き続き図っていくとともに、区長会などの団体の会議においても継続して説明を行い、参加を呼びかける。</p>										A~Eの5段階評価 A10点×7 B7.5点×11 C5点×0 D2.5点×0 E0点×0	8.47		
評価	取組状況	目標	分析	改善	≒	総合評価(点数)								
	41.67点 /50点	18.75点 /30点	8.33点 /10点	8.47点 /10点		77.22点 /100点								






令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち					
	基本計画	_40 ICT_情報通信技術_の推進					
総合戦略分類	基本目標		行政改革分類	基本目標	基本目標2 信頼に応える行財政運営のまち		
	基本プロジェクト			基本方針	4 ICT(情報通信技術)の推進		
目的	ICT(情報通信技術)を活用し、迅速かつ効率的な事務執行を図るとともに、より質の高い行政サービスを提供する町を目指す。						
PDCA(PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	行政サービスの近代化・効率化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	68.8%	
		取組内容	電子申請システムの運営管理を行い、さらには取り扱い案件の拡充を図り16件を取り扱い、申請件数は250件だった。昨年度導入した地理情報システムの運営管理を行い、公開型においては4つの情報を公開した。				
	(2)	行政事務の近代化・効率化	企画課	一部取り組んでいる	50	×係数	
		取組内容	引き続き邑楽町事務近代化推進委員会を開催し、会議録作成システムの導入、文書管理システムの導入について協議した。結果、令和4年度予算に会議録作成システムの計上。文書管理システムについては再度検討する結果となった。				
	(3)	情報セキュリティ体制の強化	企画課	一部取り組んでいる	50	50	
		取組内容	県のセキュリティアラウドへの安定した接続、セキュリティ強化サーバーの運用を行い、物理的セキュリティレベルの維持を図った。情報セキュリティポリシーの改訂は素案の作成にとどまった。				
	(4)	情報教育の推進	生涯学習課(企画課)	計画調書通り取り組んでいる	100	点数	
		取組内容	コロナ禍で事業が中止となったこともあったが、町民を対象としたパソコン講習会(IT講習会)やパソコン相談会を年間通して開催した。高齢者から要望が多かったスマートフォンセミナーも企業と連携して開催した。また、定年後に独学でパソコンを学び、81歳でゲームアプリを開発し、現在「デジタル田園都市国家構想実現会議」の構成員でもある若宮正子氏に「ICTを使って高齢化社会を楽しく生きるコツ」をテーマに講演いただくなど、広く町民に向けて情報教育の推進を図った。				
(5)					34.38		
	取組内容						
(6)							
	取組内容						

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均		
		①	町ホームページを利用したオンライン申請数(年間)				②	地図情報のシステム化(公開型GISの導入)による、窓口業務の地図情報の交付数				100		
		策定時	83 件				策定時	175 件						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	100	件	250	件	R3	170	件	167	件	係数		
		R4	150					R4		150				
		R5	200					R5		130				
		R6	250					R6		110				
		R7	300					R7		90				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
目標通り達成した				A	目標通り達成した				A	30.00				
				100					100					
CHECK										策定委員会評価欄				
今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										課題の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 オンライン申請数は達成できたものの、取り扱い案件についてはまだ満足できる状態ではない。今後は庁内を横断的に確認し、オンライン申請の案件を増加させる取組みが必要である。</p> <p>【KPI②】 公開型GISの運用を開始したが、思うように窓口対応が減少していない。</p>										<p>A～Eの5段階評価 A10点×7 B7.5点×9 C5点×1 D2.5点×1 E0点×0</p>	8.06			
ACTION										策定委員会評価欄				
来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										解決・改善の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 オンライン申請(県の電子申請システム)については、庁内向けの情報提供を強化する。さらにはマイナポータルの運用についても改めて確認し、マイナンバーカード所有者の利便性向上のため、情報発信をしていく。</p> <p>【KPI②】 公開できる情報数を増やすとともに、必要としている人に情報公開していることの情報が届くよう、情報発信の強化を図る。</p>										<p>A～Eの5段階評価 A10点×8 B7.5点×7 C5点×3 D2.5点×0 E0点×0</p>	8.19			
評価	取組状況	目標	分析	改善	≒	総合評価(点数)								
	34.38点 /50点	30.00点 /30点	8.06点 /10点	8.19点 /10点		80.63点 /100点								




令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち					
	基本計画	.41_効率・効果的な行政運営の推進					
総合戦略分類	基本目標		行政改革分類	基本目標	基本目標2 信頼に応える行財政運営のまち		
	基本プロジェクト			基本方針	5 効率・効果的な行政運営の推進		
目的	時代に適応した組織体制の構築及び職員の資質向上により組織力を高めるとともに、施設の適正な管理及び事業の選択と集中による効率的かつ効果的な行政運営を実現する。						
PDCA (PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	計画的な事業の執行と行政評価の推進		企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	81.3%
		取組内容 総合計画・総合戦略・行政改革の進捗管理を行った。また、事業成果等について策定委員会の委員等により内部評価を行い事業のブラッシュアップを図った。結果については、町ホームページにおいて公表を行っている。					
	(2)	機能的な組織の構築と職員の資質向上		総務課(企画)	一部取り組んでいる	50	×係数
		取組内容 令和2年度に設置した「邑楽町組織機構改革検討委員会」の結果を基に、今年度は関係条例の制定、予算要求等を行い、令和4年度機構改革の実施に向けた組織体制の整備を図った。また職員の各種研修への参加を促し、住民ニーズに柔軟に対応できる職員を育成した。					
	(3)	時代の要請に対応した行政サービスの展開		企画課(全課)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50
		取組内容 ・各種証明書等のコンビニ交付を開始した。 ・今後、民間と連携し財政資金の効率的使用や行政の効率化を図るためPPPのセミナーにオンラインで参加した。					
	(4)	公共施設の適正な管理		財政課	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
		取組内容 「邑楽町建物系公共施設個別施設計画」に基づいた改修工事を行った。財源については、国庫補助の積極的な活用及び交付税措置のある有利な起債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債、公共施設等適正管理推進事業債等)を充当することが出来た。					
(5)						40.63	
	取組内容						
(6)							
	取組内容						

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	総務課				担当課	企画課				進捗平均		
		①	職員研修参加者数(年間延べ)				②	KPI(重要業績評価指標)平均達成率				50		
		策定時	455 人				策定時	82.4 %						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	600	人	218	人	R3	100	%	80.2	%	係数		
		R4	620					R4		100				
		R5	640					R5		100				
		R6	660					R6		100				
		R7	680					R7		100				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
あまり達成しなかった					D 25		概ね目標通り達成した					B 75	15.00	
CHECK										策定委員会評価欄				
今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										課題の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 新型コロナの影響もあり、職員研修の回数や参加職員の人数が減少してしまったことは、次年度以降の検討課題である。今後も同様の状況になることも懸念される。</p> <p>【KPI②】 コロナ禍で多くの集客が想定されるイベントや講演会など中止となった事業があったため、目標値に届かなかった。今後もコロナ禍で実施できない状況が想定される。</p>										A～Eの 5段階評価 A10点 × 3 B7.5点 × 10 C 5点 × 5 D2.5点 × 0 E 0点 × 0	7.22			
ACTION										策定委員会評価欄				
来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										解決・改善の捉え方	点数			
<p>【KPI①】 研修方法は必要に応じて、Web会議や感染対策をしっかり講じた上で、改善に尽力したい。現在やこれからの働き方に参考となるような研修会を年間3回は実施していきたい。</p> <p>【KPI②】 ・コロナ禍であっても講演会や集客のあるイベント等については、全庁的にオンラインの活用を推進し、開催方法を工夫して実施する。 ・達成率が100%になるよう施策の目標を明確にすることが必要である。さらに進捗状況や達成率を把握し、各施策の実施状況を分析し改善していく。</p>										A～Eの 5段階評価 A10点 × 7 B7.5点 × 8 C 5点 × 3 D2.5点 × 0 E 0点 × 0	8.06			
評価	取組状況	目標	分析	改善	≡	総合評価(点数)								
	40.63点 /50点	15.00点 /30点	7.22点 /10点	8.06点 /10点		70.91点 /100点								

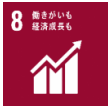



令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち					
	基本計画	_42 財政運営の健全性の確保					
総合戦略分類	基本目標	基本目標4 安心して暮らせる魅力的なまちをつくる	行政改革分類	基本目標	基本目標2 信頼に応える行財政運営のまち		
	基本プロジェクト	27 財政運営の健全性の確保		基本方針	6 財政運営の健全性の確保		
目的	社会経済情勢の変化及び本町の実情に対応し、中長期的な展望に立った健全で計画的な財政運営を行う町とする。						
PDCA (PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	計画的な財政運営		財政課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0%
	取組内容	限られた財源の中ではあるが、経常経費の個別査定を行い適正な予算配分を行った。また、「邑楽町建物系公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の長寿命化を行い予算の平準化及び適正管理に努めた。令和2年度から交付されている新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を有効活用し、新型コロナ対策を行った。					
	(2)	財源（歳入）の確保		税務課(財政・企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	× 係数
	取組内容	住民税の特別徴収義務者の指定が拡大し、eLTAXによる電子申請や共通納税も増加しており堅実な税収の確保につながっている。滞納処分では、預貯金・給与などの差押強化の継続と群馬県不動産合同公売に参加し、滞納額の圧縮と財源確保に努めた。また、納税環境の整備のため令和2年度よりスマホ決済による収納サービスを始めた。					
	(3)	公有財産の適正管理		財政課(会計)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50
	取組内容	未利用の公有財産の一部を貸付けを行い、有効活用を行った。普通財産の売り払いは行う事は出来なかった。					
	(4)	経費の削減と使用料の適正化		財政課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	役場庁舎において、少額の消耗品でも見積もり合わせや消耗品の一括発注などにより事務的経費の削減に努めた。補助金審査委員会を開催し、補助金の対象者や内容などについて精査し適正な補助金制度の執行に努めた。					
(5)						37.50	
取組内容							
(6)							
取組内容							

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	税務課				担当課	財政課				進捗平均		
		①	収納率				②	実質公債費比率				100		
		策定時	94.1 %				策定時	6.7 %						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	94.2	%	94.6	%	R3	6.7	%	6.4	%	係数		
		R4	94.3					R4		6.7				
		R5	94.5					R5		6.6				
		R6	94.8					R6		6.6				30
		R7	95.0					R7		6.5				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
目標通り達成した					A		目標通り達成した					A		
					100						100			
											30.00			
CHECK														
今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										策定委員会評価欄				
【KPI①】 特別徴収の一斉指定が5年目を迎えるが、依然として一部の事業者では住民税の特別徴収についての認識が不足しており、さらなる指定の拡大が図れるかが課題となっている。										課題の捉え方				
【KPI②】 3年平均の実質公債費比率については目標値を下回ることが出来た。しかし、単年度の実質公債費比率は6.7となっている。令和元年度から令和3年度は6.0～6.7となっており、実質公債費比率は3年平均の最大値となっている。大きな増減が無く平準化することが個別施設計画の目的でもある為、工事内容等も考慮しながら起債額の平準化に取り組んで行くことが必要。														
										9.03				
ACTION														
来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										策定委員会評価欄				
【KPI①】 地方税対策会議等を通して、県や近隣市町と特別徴収義務者の指定拡大について情報共有を行い、事業者への総括表発送時には制度周知チラシ（東部地域共通）を同封し、認識が不足している事業者に対しては適切な指導を行う等の、周知と指導を適切に展開する。また、固定資産税については、職員による現地調査を継続して実施し適正課税に努める必要がある。										解決・改善の捉え方				
【KPI②】 公共施設の老朽化は町財政運営にとっても大きな課題である。邑楽町建物系施設個別施設計画を基に長期的な視点で、施設の維持管理を行う必要がある。事業執行にあたっては、計画的な事業運営を行うとともに、国庫補助の有効活用や交付税参入率の高い起債の借入を行いながら、起債総額の削減と平準化に取り組む。														
										9.17				
評価	取組状況	目標	分析	改善	≒	総合評価(点数)								
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	9.03点 /10点	9.17点 /10点		85.7点 /100点								

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

総合計画分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり	SDGs				
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち					
	基本計画	_43_広域行政の推進					
総合戦略分類	基本目標	基本目標2 邑楽町への新しい人の流れをつくる	行政改革分類	基本目標	基本目標2 信頼に応える行財政運営のまち		
	基本プロジェクト	10 広域行政の推進		基本方針	7 広域行政の推進		
目的	広域化する町民ニーズに対して、町域を越えた行政サービスの向上及び課題解決に向けた広域的視点に立った体制を整える。						
PDCA (PD)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	事務組合の推進と強化		建設環境課(総務・福介)	計画調書通り取り組んでいる	100	83.3%
	取組内容	太田市外三町広域清掃組合の新しい焼却施設が令和3年4月から本格的に稼働している。太田市外三町広域斎場整備事業について協議を進めている。					
	(2)	広域協議会などによる継続的連携		企画課	一部取り組んでいる	50	×係数
	取組内容	・両毛広域都市圏総合整備推進協議会では、「りょうもうグルメスタンプラリー」を計画したが、ラリー開始直前にコロナの警戒度が上がり中止となった。また、公共施設の相互利用においてはコロナ禍が影響し以前の利用者数まで回復はしなかった。 ・その他の広域行政を行っている協議会、同盟会においては、総会はコロナ禍により書面での開催となった。要望活動においても対面ではなく、書面を郵送し行った。					
	(3)	広域化による新たな連携		企画課(総務)	計画調書通り取り組んでいる	100	50
	取組内容	・多様化複雑化する町民ニーズに対応するため、町と地方創生及び地域活性化等を目的として邑楽町地方創生包括連携協定を民間企業等と締結しているが、令和3年度においては二者協定1件、三者協定1件を締結した。 ・移住定住者の増加に向け、オンラインでの相談会を県や近隣市町と実施した。 ・各一部事務組合、広域連合では行政事務の効率化に努め、共同で行っているごみ処理や医療など地域住民の安全安心な暮らしを守るための行政サービスを実施した。					
	(4)						点数
	取組内容						
(5)						41.67	
取組内容							
(6)							
取組内容							

令和3年度 邑楽町行政評価シート（邑楽町第六次総合計画後期基本計画・第2期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略・第五次邑楽町行政改革大綱 施策評価シート）

DO														
目標①(D)	KPI	担当課	企画課				担当課	企画課				進捗平均		
		①	両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合(統計の関係上2年前の数値)				②	他自治体や民間との協定締結による年間事業実施数				87.5		
		策定時	3.33 %				策定時	2 件						
		年	目標値	単位	実績値	単位	年	目標値	単位	実績値	単位			
		R3	3.40	%	3.42	%	R3	3	件	2	件	係数		
		R4	3.50					R4		4				
		R5	3.60					R5		5				
		R6	3.70					R6		6				
		R7	3.80					R7		7				
		目標達成状況					目標達成状況					点数		
目標通り達成した					A	概ね目標通り達成した					B			
					100						75			
											26.25			
分析(C)	CHECK										策定委員会評価欄			
	今年度、目標達成に向けてどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。										課題の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】 広域協議会及び近隣市町と連携し、公共施設相互利用に関する情報発信及び施設側の受け入れ体制の充実に向けた取り組みを推進する必要がある。</p> <p>【KPI②】 包括連携協定を締結したことが目的ではなく、さらに町民にとっての利益或いは企業・団体にとっての利益のための行動が必要となる。また、取り組みを一過性に終わらせることなく継続性を持たせることが重要である。</p>										A～Eの5段階評価 A10点 × 9 B7.5点 × 8 C 5点 × 1 D2.5点 × 0 E 0点 × 0	8.61		
改善(A)	ACTION										策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題についてどのように改善し、目標達成を目指しますか。										解決・改善の捉え方	点数		
	<p>【KPI①】 広域協議会及び近隣市町と連携し、協議会HPで公共施設相互利用に関する情報発信及び施設側の受け入れ体制の充実に向け職員研修を推進する。</p> <p>【KPI②】 会員等間の情報共有、相互啓発及び連携強化に関する活動を調整していくプラットフォーム会議を通じて、本町の取り組みへの支援や協力を仰ぎ、民間の活力も加えながら更なる町民サービスの充実を図る。(令和4年4月より実施済み)</p>										A～Eの5段階評価 A10点 × 9 B7.5点 × 7 C 5点 × 2 D2.5点 × 0 E 0点 × 0	8.47		
評価	取組状況	目標	分析	改善	≒	総合評価(点数)								
	41.67点 /50点	26.25点 /30点	8.61点 /10点	8.47点 /10点		85点 /100点								